



エミールだより

8月

エミール保育園
園長 江口 浩三郎

「子どもは三角関係のなかですごしている」

梅雨の合い間のお天気に恵まれて、花火大会もキャンプも無事行うことができました。小中学生がいつもよりもより多く来てくれた花火大会は、子どもたちのためのお祭りらしくなりました。キャンプに参加のみどり組はさすがに年長児だけあって、整然とした行動を安心して見ることができました。夏の風物詩ともいえるいつもながらのイベントですが、確実に勢いが育っているのを感じます。それを支えていただく多くの方々に、心より感謝いたします。

ところでモンテッソーリクラスでは、「子ども」「先生」「環境」が、それぞれを頂点として三角関係をつくっています。「先生」と「子ども」が一本の線でつながっている通常のクラスとは、まったく関係がちがっているのです。

- ① 「子ども」は「環境」に対し、自分の好きなように関わっていきます。「いつ何をやりたいのか」「どれくらいの時間をかけてやるのか」「どの場所でやるのか」等は、すべて子どもが自分で決めていきます。先生は、子どもがまだ環境に慣れていないときや、新しい教具の取り扱い方の指導など、必要最低限にかかわっていきます。
- ② 「先生」の大きな役割は、子どもの成長に必要な「環境」を準備してやることです。そのためには、子どもの成長時における行動の特徴や脳の発達具合、どんな教具がありその教具の目的は何かなど、事前に十分な知識を蓄えておく必要があります。
- ③ そんな「先生」に、「子ども」は大きな信頼を寄せます。また先生も子どもの持つ豊かな可能性を信じ、一個の人格者として認めていきます。お互いの関係が、深い信頼関係で結ばれていくのです。

なぜこんな三角関係が必要なのでしょう。まずひとつ目は、子どもの自由意思を尊重し自己選択活動をうながすためです。自分のやりたいことを自分のペースで集中してやれば、最大限の学習効果も生まれてきます。

ふたつ目は、先生の行動を抑制し、子どもが内面的に持っている能力の引き出し役に任じることです。子どもには愛情深く、忍耐力を持ち、謙虚であることを求められるのはそのためです。

この三角関係がうまくはたらけば、子どもは居心地がよくおだやかに、しかも前向きな気持ちを満足させながら過ごすことができます。というのも自分がまだ幼いながらも、ひとりの人間として大切にされていることを感じるからです。クラスでの活動ぶりをのぞく機会があったときには、本当にそうなのかどうか確かめて下さいね。

(園長 より)

花火大会の御礼

今年の花火大会は、台風が心配でしたが、お天気に恵まれて大盛況でした。5歳児の「エミールわっしょい」やバザーや出し物も大好評で、たくさんの保護者や卒園生などでにぎわうことができました。これも役員さんをはじめたくさんの保護者の皆さまのご協力あってのことだと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

父母の会主催ですので、後ほど会計報告その他については、父母の会よりお知らせがあると思っております。



8月の行事予定

1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	
12	水	
13	木	お盆
14	金	お盆
15	土	お盆
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	
20	木	
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	
26	水	避難消火訓練
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	5歳児登園
9/1	火	8月誕生会

< 幼児特別指導 >

体育教室 (プール教室)
5歳児 28日(金)